

クヌギ萌芽更新におけるシカ被害防除

林業研究部

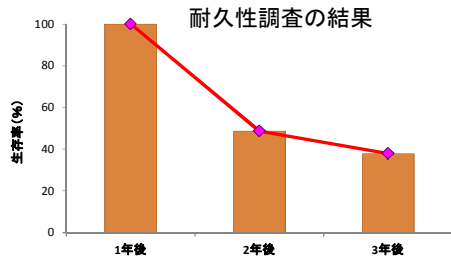
1. 研究の背景

近年、原木伐採後のクヌギ萌芽にシカの食害が発生しており、食害を受け続けると株が枯死するため、将来の原木供給に影響を及ぼすことが懸念されている。また、萌芽の成長は早く、短期間でシカの食害を受けにくい高さまで成長するため、萌芽に適した低コストな防除方法が求められている。



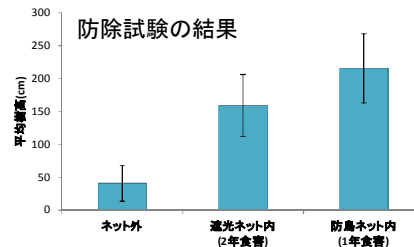
2. 研究成果の内容・普及のポイント

○シカの食害後は早期防除で株の枯死を阻止

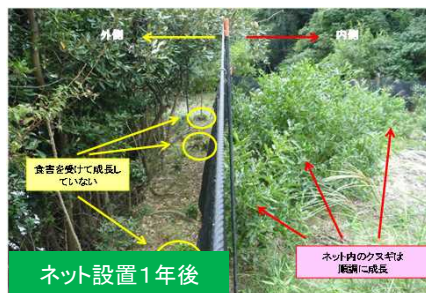


- ・ 2年続けて食害を受けると株の生存率が大きく低下
- ↓
- ・ **2年以内に防除することが重要**

○簡易で低コストな遮光ネットや防鳥ネットでシカの食害を防除



- ・ ネットの内と外では、クヌギ萌芽の樹高に大きな差があった
- ↓
- ・ **簡易ネットでも防除することができる**



—設置のポイント—

- 【遮光ネット】
- ・ 風の影響を受けにくい場所や立木がある場所
- 【防鳥ネット】
- ・ **定期的に補修ができる場所**

3. 期待される効果

- 低コストでクヌギ萌芽を防除
- クヌギ林の更新維持

4. 担当機関連絡先

林業研究部 森林チーム
 TEL：0973-23-2146
 住所：日田市大字有田佐寺原35